

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 原発性肺癌の術前治療中に発症した深部静脈血栓症の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 上沼 康範 (国立がん研究センター東病院 呼吸器外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

肺癌術前治療(術前化学放射線療法・術前化学療法)を受けられた患者さんの深部静脈血栓症の発症リスクを検討した報告はなく、その後の中長期的な予後を検討した報告はありません。本検討では深部静脈血栓症の発症率や発症された患者さんの背景・治療経過等について後方視的に検討を行います。本研究はカルテ情報を用いた後ろ向き観察研究です。

研究期間：実施承認後～2023年3月31日

■ 対象となる患者さん

2009年4月～2019年3月までに当院呼吸器外科で肺癌術前治療後に手術を受けられた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：病歴、治療歴、血液検査結果、肺癌手術の病理結果報告書
画像検査結果、抗がん剤治療の治療歴 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

棚橋 雅幸・呼吸器センター外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971